

題材名「川とわたしたちの暮らし」

目 標

- ・流れる水のはたらきと災害との関係を調べることができる。
- ・大雨が降って水の量が多くなり、流れが速くなると、地面のようすが大きく変化したり、災害が起こったりすることがわかる。

コンピュータを活用する利点

大雨が降ったときの川の災害、砂防ダムの役割、川の外側が削られるのを防ぐための護岸ブロックなど、実際に現地に行ってみることができなかった所をビデオ画像で確認できる。説明の入ったビデオ画像により学習したことの確認ができる。

授業の流れ

平成16年台風23号の災害の様子を知る。

本日のめあてについて知る。

ビデオ画像を見る前に、教師の質問を聞く。

ビデオ画像を見て確認し、ノートにまとめる。

質問の答えの確認と、話し合い。

画像を通して、単元の内容を学習し、単元の学習内容の確認する。

ICT 活用場面

五年理科「流れる水のはたらき」の、「川とわたしたちの暮らし」の学習で、まず、大雨が降ったあとの災害の様子として、インターネットから平成16年台風23号の豊岡市災害の資料を集め、パワーポイントでまとめ、授業の導入で児童に見せた。そのあと、本時のめあて「災害をふせぐためにはどうしたらよいだろう」を児童に知らせた。NHK デジタル教材のビデオ映像を見せる前に、見るポイントになるところを問題にし、児童に知らせた。映像を見せ、問題の答えが分かった児童からノートにまとめさせた。一時間での画像の内容は、大雨が降ったときの川の災害、砂防ダムの役割、川の外側が削られるのを防ぐための護岸ブロックについてである。一つの内容が終わると問題の答えを発表し、話し合いで深め合った。そして、次の問題を出し、同じ流れで学習をした。



成果と課題

(成果) 過去にあった自分の住む近くの地域での台風の災害について写真で確認できた。また、実際に見ることができない自然災害の様子をビデオ画像で確認できた。説明があるビデオ画像により学習内容の理解を深めることができた。

(課題) ビデオ学習より、実際の見学の方が、児童への興味関心意欲、理解を高められる。学習をさらに深めるため、ICT と実際の有効な活用方法の検討。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	パソコン、プロジェクター、スクリーン
使用ソフト名	NHK デジタル教材 理科五年ふしぎワールド映像クリップ
使用教室	コンピュータ室